

JOYO BANK NEWS LETTER

2025年2月18日

大子町および大子町森林組合、バイウィルとの 「森林資源による環境価値の創出に向けた連携に関する協定」の締結について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、このたび、大子町（町長 高梨 哲彦）、大子町森林組合（代表理事組合長 松浦 宣章）、株式会社バイウィル（代表取締役社長 下村 雄一郎、以下、「バイウィル」）との間で、「森林資源による環境価値の創出に向けた連携に関する協定」を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本協定は、当行と大子町、大子町森林組合、バイウィルが J-クレジットをはじめとした各種環境価値に関する情報の共有、森林資源を活用した地域の脱炭素化にむけた事業の推進などを通じて相互の連携を強化し、地域におけるカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミー*の実現に貢献することを目的とするものです。

大子町は、持続可能な循環型社会、脱炭素社会の実現に向けて、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティを宣言しています。また、大子町森林組合は、森林整備に基づいた J-クレジットの創出を通じ、持続可能な環境づくりを目指しています。

今般の協定で当行は、「環境価値と経済価値の循環」を支援するバイウィルの知見を生かし、大子町および大子町森林組合による J-クレジットの創出支援、及び創出された J-クレジットの「地産地消」をサポートすることにより、大子町のカーボンニュートラル達成への貢献を目指してまいります。

当行は、今後とも、地域の課題解決に向けた取り組みを進め、地域経済の成長と活性化に貢献してまいります。

* 製品や素材、資源の価値を可能な限り長く保全・維持し、廃棄物の発生を最小限化することで、資源利用に伴う環境負荷を低減するための経済システム

記

1. 締結日

2025年2月17日（月）

2. 協定締結者

大子町、大子町森林組合、株式会社バイウィル、株式会社常陽銀行

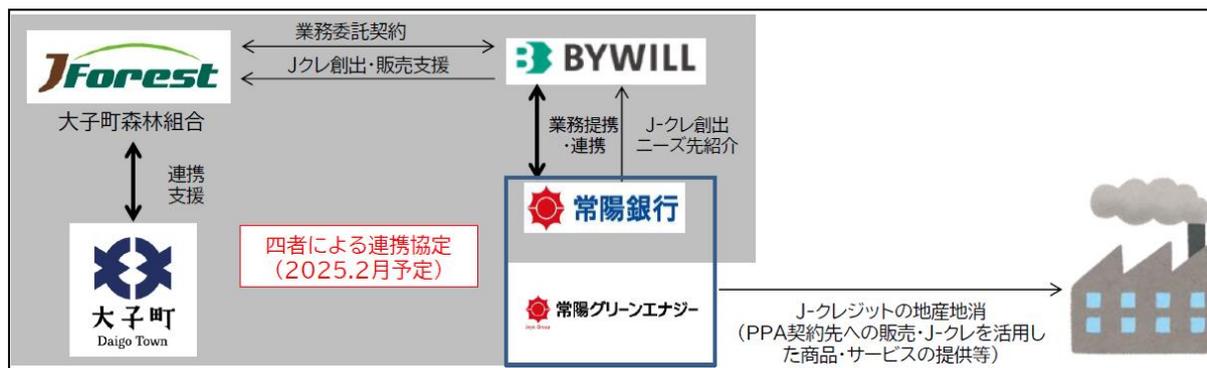
3. 協定における主な提携事項

- (1) 環境価値に関する情報・サービス・ノウハウ等の提供
- (2) 環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出
- (3) その他、本協定の目的に資すると当事者が認める事項

4. 4者の役割

- (1) 大子町 : 大子町森林組合への連携支援
- (2) 大子町森林組合 : 森林経営計画の策定、山主への説明・同意取得
- (3) 株式会社バイウィル : J-クレジットの創出・販売支援、各関係者へのコンサルティング
- (4) 株式会社常陽銀行 : J-クレジットの創出・ニーズ先の紹介
J-クレジットの地産地消 (当行グループ会社含む)

【連結協定のイメージ】



【締結式の様子】



(左から) 大子町長 高梨哲彦氏、大子町森林組合 代表理事組合長 松浦宣章氏、
常陽銀行 頭取 秋野哲也、株式会社バイウィル 代表取締役社長 下村雄一郎氏

【株式会社バイウィル概要】

所在地	東京都中央区日本橋 2-3-21 群馬ビル 6階
代表者	代表取締役社長 下村雄一郎
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境価値創出支援事業 (クレジット創出) ・環境価値売買事業 (クレジット調達・仲介) ・脱炭素コンサルティング事業 ・ブランドコンサルティング事業
ホームページ	https://www.bywill.co.jp/

以上